



今年の抱負。願いを込めて。



いよいよ令和4年（2022年）の幕が開けた。

今年は何と言っても、36年に1度しか巡ってこない「五黄の寅（ごおうのとら）」と呼ばれる特別な年であるらしい。正確な干支は「壬寅（みづえのとら）」と呼び、壬寅は干支を数えたときに39番目の年にあたる。

壬寅は厳しい冬を乗り越え、新しいステージに向かう準備段階にあたる年とされ、その理由として、まず壬は「妊」に通じることから「エネルギーを蓄える」といった意味を持ち、十干で9番目にあたることから「次の周期の準備期間」、陰陽五行説では水の陽にあたり「厳冬」や「沈滞」を表す。

次に、寅は「蟻（みみず）」に通じていて、作物の実りを助けるミミズが土の中を動くイメージから「新しく動き始めた段階」という意味があるようだ。また、干支でいえば3番目にあたり周期の始めなので「誕生」を、陰陽五行説では木の陽に属していることから「大きな成長」を表しているとのこと。

「2022年」は、以前から指摘されていたように、団塊の世代が75歳以上に突入する年である。そして次は「2042年」（団塊ジュニアが75歳以上に突入する時代）を見据えて色々な事が議論されていく1年になると予測する。新たな資本主義の実現に向けて「成長と分配」が始動する1年でもある。

業界も自分自身も、“いよいよ、これから”の気概で、まだまだ“新たな成長”に向けて、よく考え行動し、素晴らしい春を迎える年としたい。

(T.T)



(参考)

2022年の干支「寅年」の人の性格とは？「五黄の寅」ってなんだ？

<https://monteroz.net/archives/7993>

「五黄の寅」の意味や由来とは？

<https://jpnpculture.net/goounotora/>